

科目名	チーム医療実践論 Advanced seminar of team care in medicine
授業形態	演習
標準履修年次	1・2・3年次
実施学期・曜時間等	通年 応談
単位数	1単位
担当教員名	柴山大賀 日高紀久江 森千鶴
ティーチングフェロー(TF)・ ティーチングアシスタント(TA)	なし
オフィスアワー等	オフィスアワーは特に定めませんが、下記に連絡・調整したうえで訪問すること taiga@md.tsukuba.ac.jp
授業の到達目標 (学習成果)	(1) 多職種医療チームのあり方、および円滑なチーム運営のために看護師が担うべき役割について理解できる。 (2) 多職種と良好な信頼関係を構築しながら、リーダーシップを発揮するために必要なスキルを修得できる。 (3) チーム一体となって問題解決に当たる上で必要なスキルを修得できる。
他の授業科目との関連	臨床教育技法指導演習、高度実践看護学特論、高度実践看護学演習、
履修条件	開講日に必ず出席できる者
授業概要	地域医療の現場に必要な多職種医療チームのあり方と円滑なチーム運営のために看護師が担うべき役割について理解を深め、討議や演習を通して、チームの中で多職種と良好な信頼関係を構築し、リーダーシップを発揮する能力を習得できるよう教授する。
キーワード	多職種チーム、リーダーシップ、チームビルディング、ミーティングファシリテーション
授業計画	筑波大学附属病院で開催される研修「医療者のためのつくばノンテック道場」の一部に参加することをとおして、一体となって問題解決に当たられるような医療チームを構成する方法を体験型学習により修得する。  1. リーダーシップ・チームビルディング 2019/9/1(日) 2. ミーティングファシリテーション 2019/10/6(日) 今年度で開催される上記と同様の研修に参加したのち、多職種医療チームのあり方と医療チーム内で看護が発揮すべきリーダーシップについて考察を深める。  (参考)つくばノンテック道場HP <a href="http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/nontech/">http://www.hosp.tsukuba.ac.jp/nontech/</a>
学修時間の割り当て及び授業外における学修方法	研修の成果を現場で実践できるよう、研修後も自己研鑽に努める。
成績評価方法	上記の研修への参加を単位取得の要件とし、最終評価が60点以上をもって単位を認定する。  <評価方法と評価配分> レポート100% レポート課題: 研修で学んだことをふまえ、以下のことについて自分の考えを述べる。 1. 研修を通じて得られた自分の変化 2. 多職種医療チームのあり方 3. 一体となって問題解決に当たられるような医療チームを構成する方法 4. 医療チーム内で看護師が発揮すべきリーダーシップ 5. 円滑なチーム運営のために看護師が担うべき役割  レポートはWordファイルで作成し、2020/2/13までにmanaba上に提出。  評価基準 上記のレポート課題の内容を各20点ずつで評価し、合算する。
教材・参考文献・配布資料等 その他(受講生にのぞむことや 受講上の注意点等)	研修当日に配布、紹介 地域基盤型高度実践看護プログラム受講者には受講を強く推奨する。 院外からも有料で参加者を募る研修であり、参加人数には制限がある。当日の欠席は多くの関係者に迷惑がかかるので厳禁である。開催日程を確認の上、参加を申し込むこと。 研修への参加申し込みは専攻で一括して行うので、専攻事務室に申し出ること。主催者には直接申し込まない。 通年科目の扱いなので、履修登録は春Aの履修登録期間中に確実にすること。